

モビリティを考えよう

電動化率/充電率マップでみる世界の主要市場 一目で分かるHVがメインの市場



1

1

電動化率 vs. 充電率という見方

電動化率% = HV+PHV+EV

充電率% = PHV+EV

充電車：PEV:
Plug-in Electric Vehicle

記号一覧

ICE:エンジン車

HV:ハイブリッド車

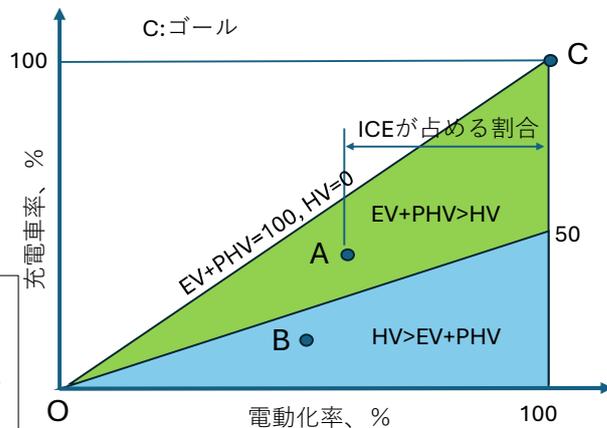
PHV:プラグインハイブリッド車

EV:電気自動車

A: EVやPHVを中心に電動化が進んでいる

B: HVを中心に電動化が進んでいる

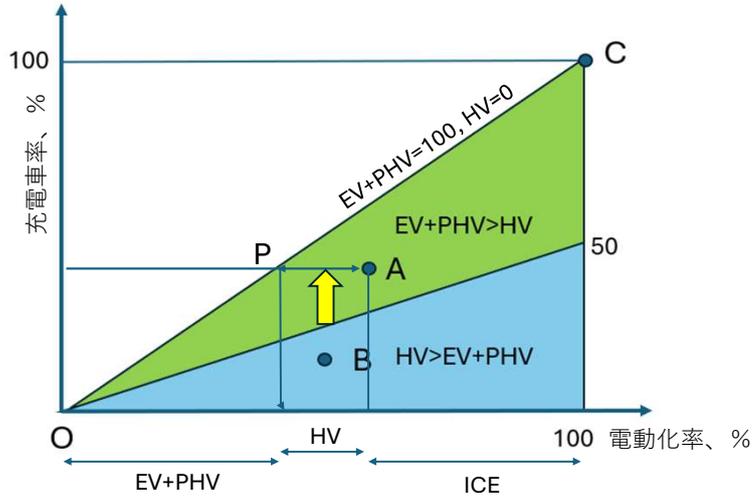
C: ゴール



このように電動化率、充電率を使ってグラフにまとめると国や地域を超えて電動化の進捗状況とそれぞれの電動化の特徴の見える化できる。

2

電動化率 vs. 充電率のマップの読み方

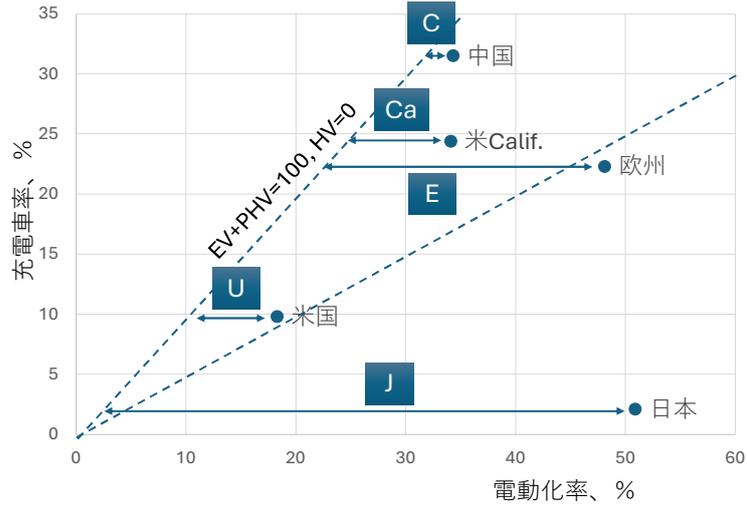


線分APが長い市場ほどHVが重要なプレイヤーとなっていることを示している。

3

3

主要市場の現状

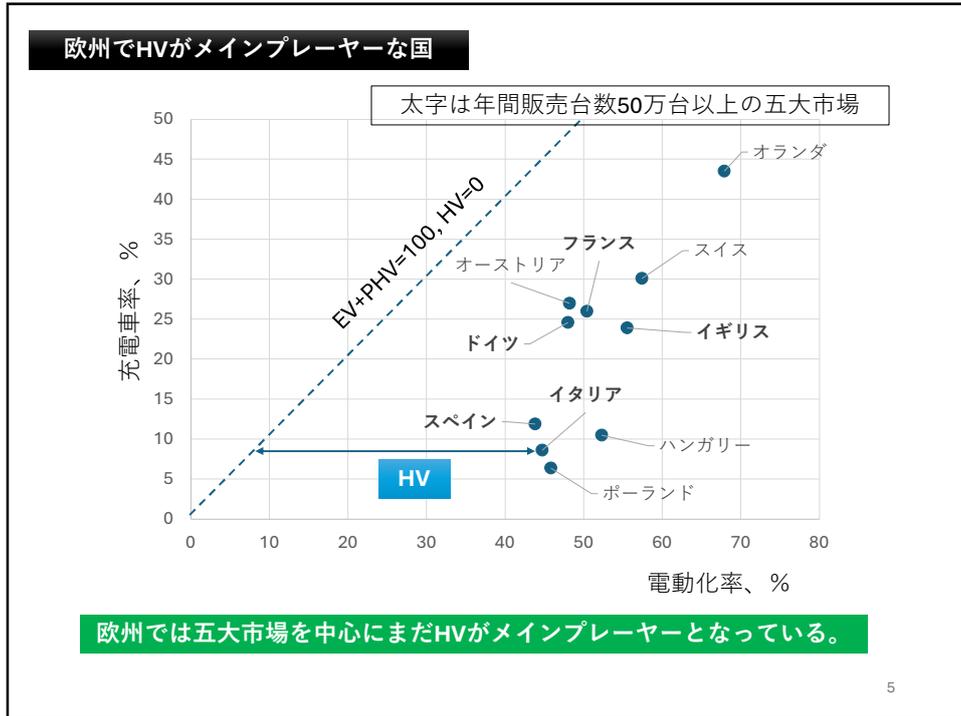


HVが大きな役割を果たしている市場は 日本、欧州、米国 (Calif.を含む) の順。

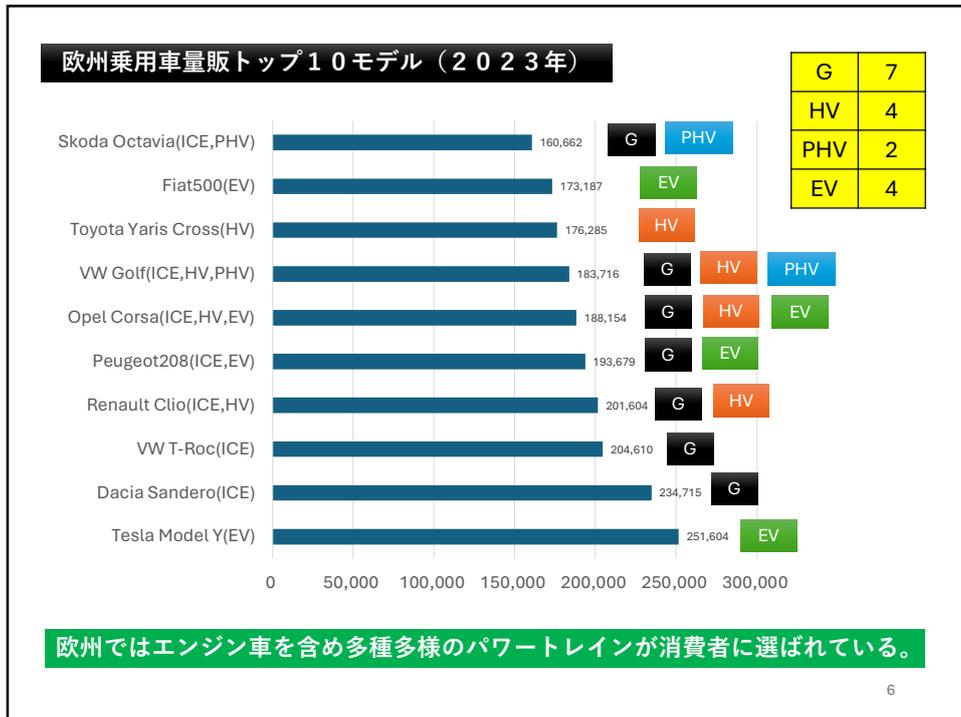
中国ではEV,PHVがキープレイヤーでHVは脇役に過ぎない。

4

4

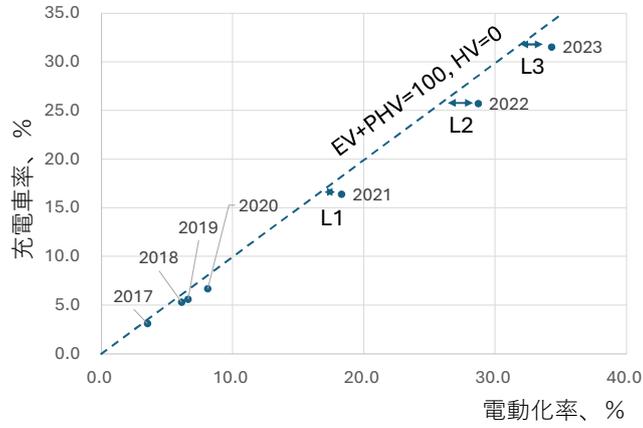


5



6

中国電動化率、充電率推移 (2017~2023)

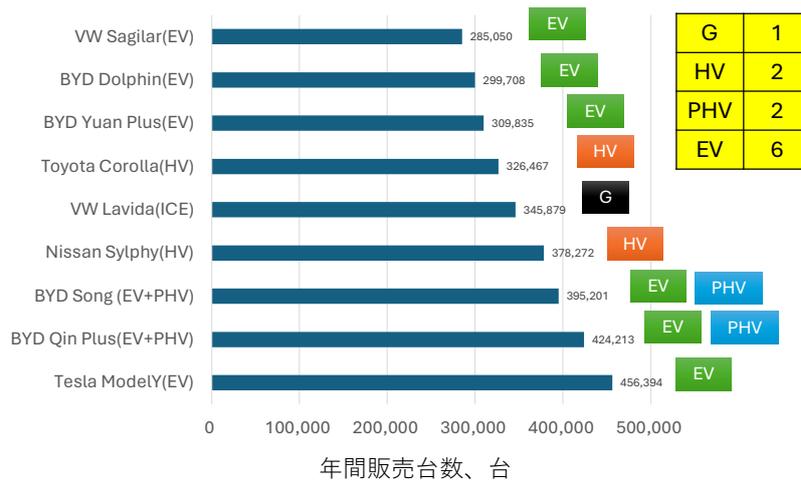


中国ではEVとPHVで独自の進化を続けている。HVあくまでも脇役に過ぎない。

7

7

中国乗用車量販トップ10モデル (2023年)

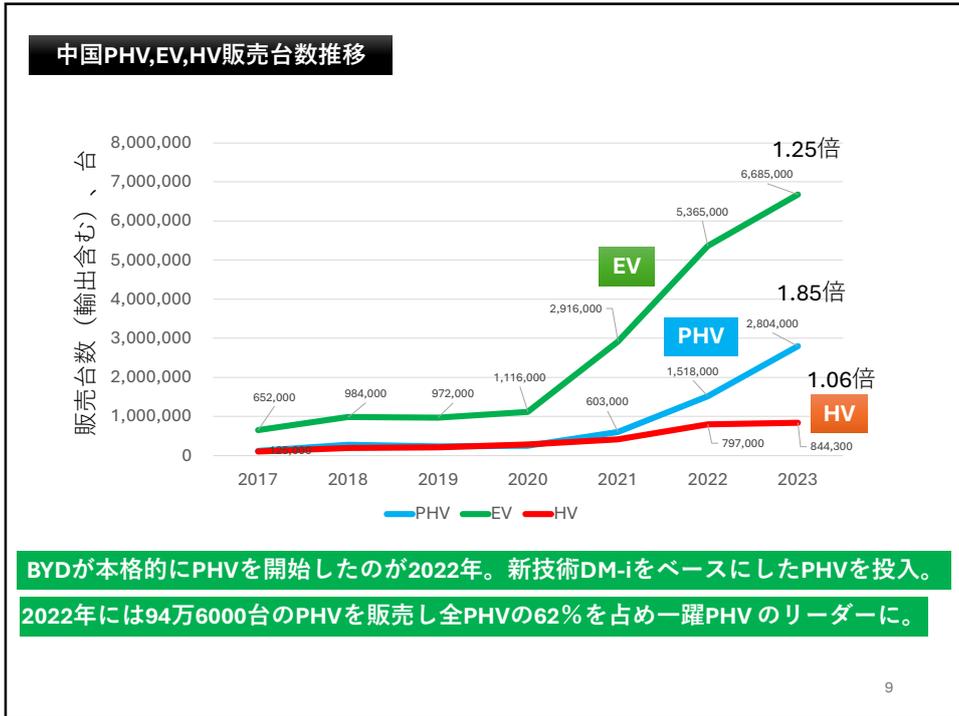


中国ではパワートレインの選択肢は狭くEVが中心。

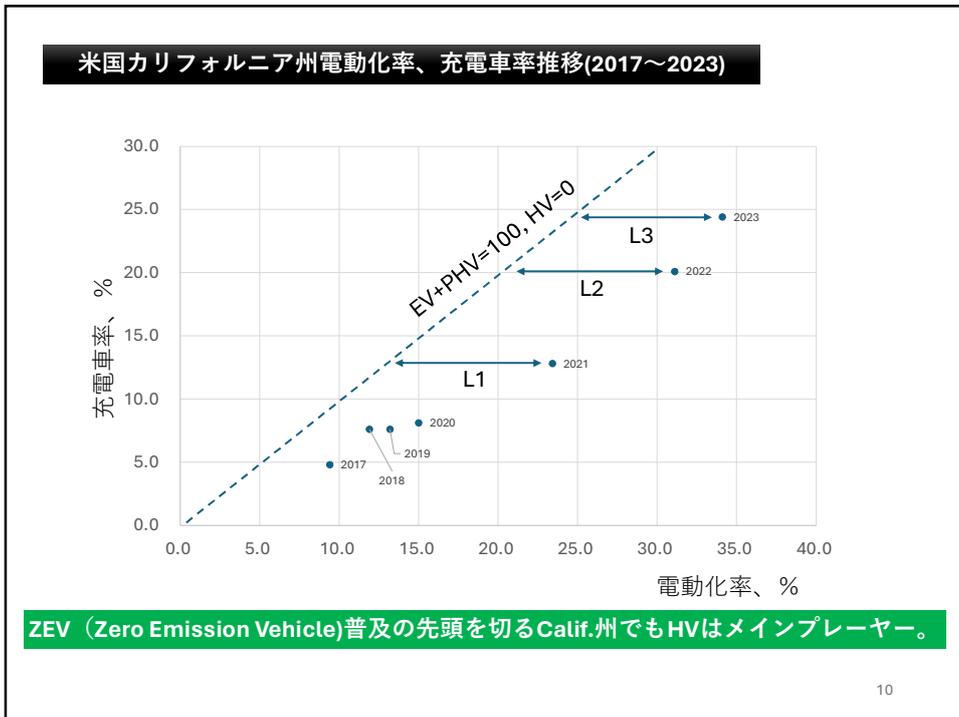
そんな中でBYDのPHVは数量で存在感を示している。

8

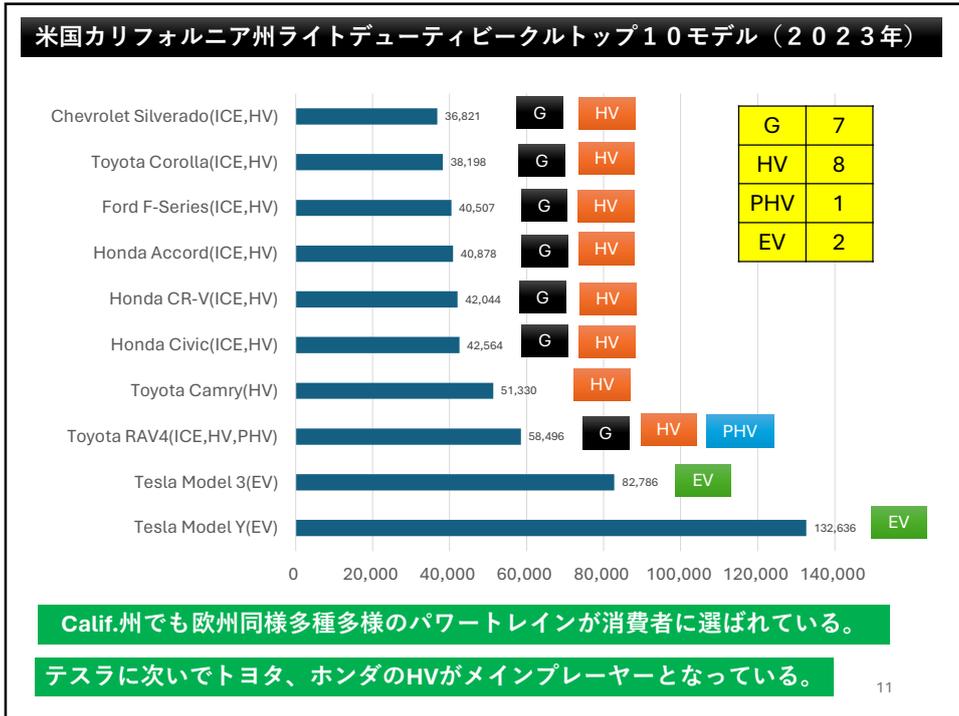
8



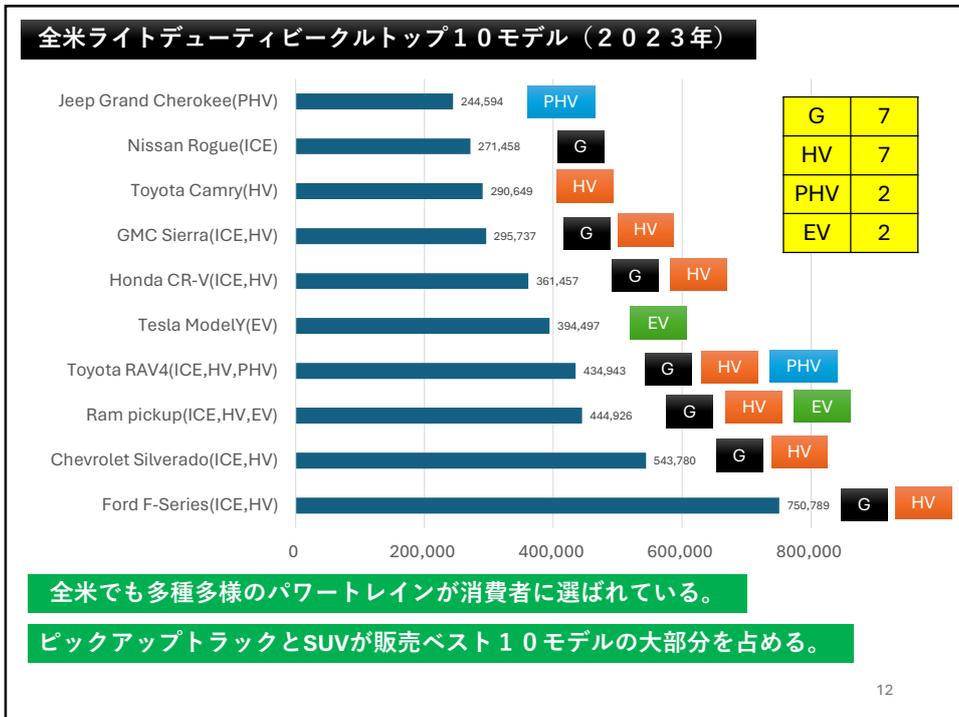
9



10



11



12

量販車ベスト10モデルのパワートレイン別内訳比較 (中国、欧州、米国)

	中国	欧州	カリフォルニア州	全米
G	1	7	7	7
HV	2	4	8	7
PHV	2	2	1	2
EV	6	4	2	2
合計	11	17	18	18

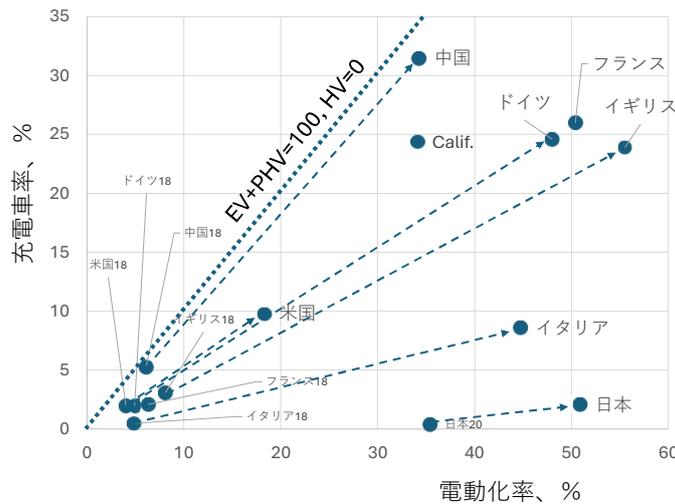
- 石炭火力が大半を占める電気で走行 → 温暖化防止になっていない
- 構造部材の一部として使われている電池 → リユースはできない
- バッテリーに充電しないでガソリン車走行 → CO2排出量大
- 大都市におけるナンバープレートの発給制限

様々な「環境車」に対して多角的に評価することが消費者に求められる。



13

主要国の電動化率、充電率の推移 (2018~2023)

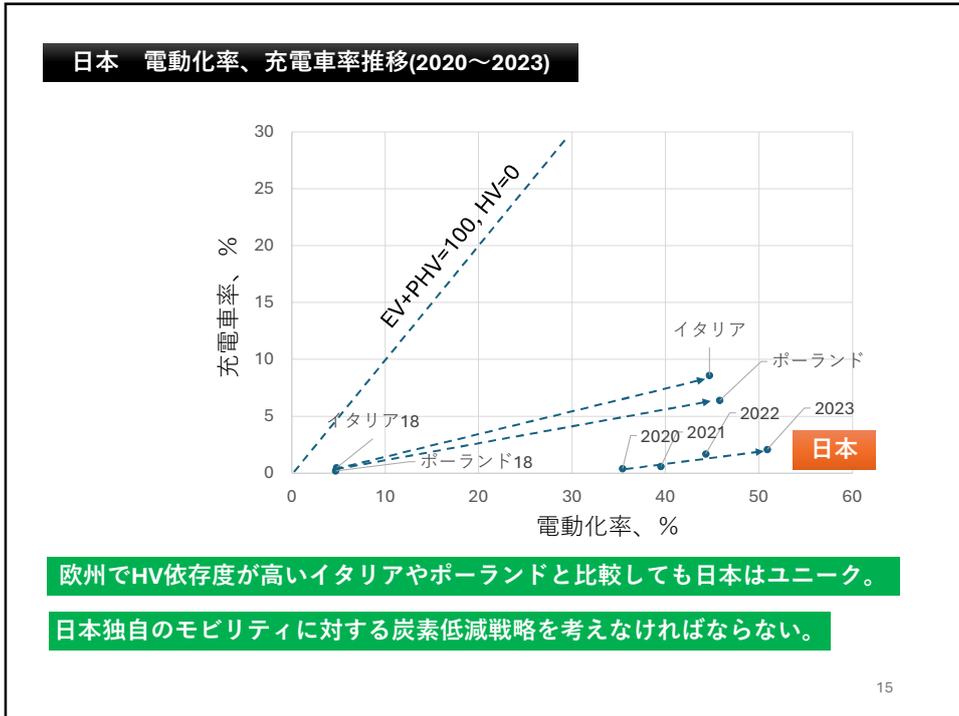


中国は新エネ車 (充電車) の比率を2035年に50%から2027年に45%に前倒し。

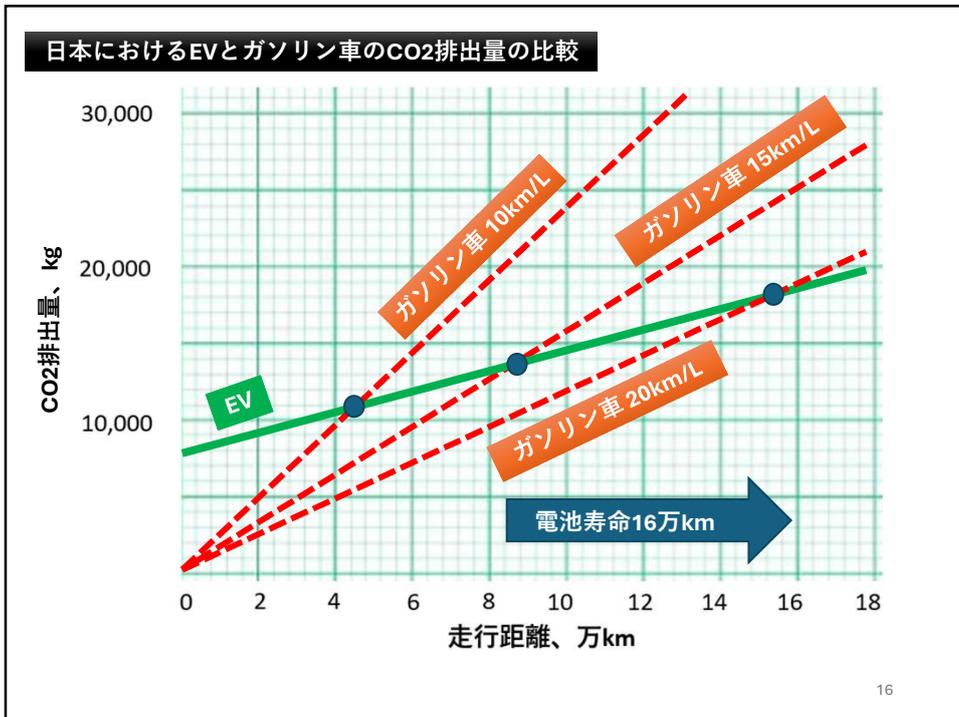
今のペースでは達成可能と推測される。

14

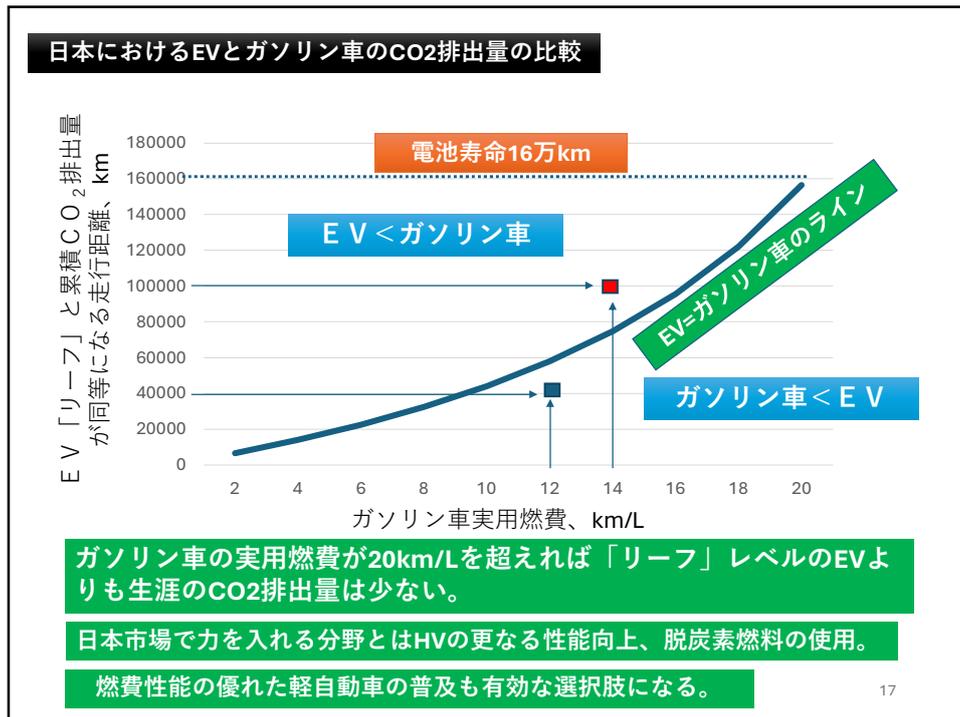
14



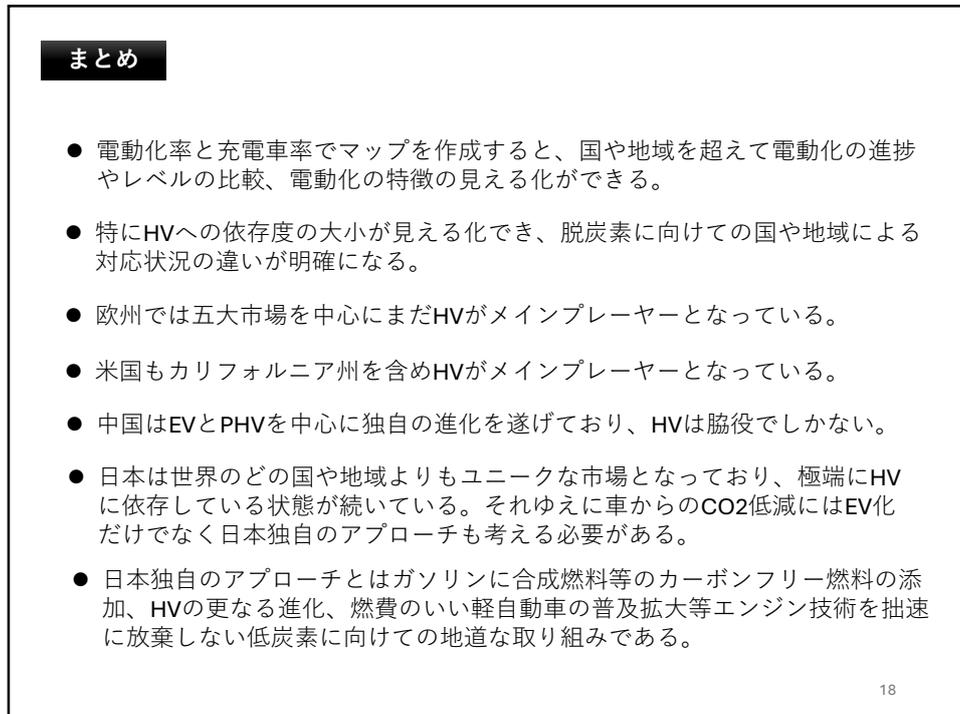
15



16



17



18